【従業者向け】放課後等デイサービス自己評価表

令和５年度　　**ちびっ子ステーション**

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	○			利用定員以上の広さがあり、雨の日でも伸び伸び身体を動かすことができる。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		適切に勤務表を組んでいる。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		入口はスロープがない。トイレには手すりが付いた。
業務改善	④	業務改善を進めるための　PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日、引き継ぎを実施して業務を行い、振り返りながら改善していく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			指導員同士しっかりと共有して保護者の意見を受け止めて改善へと繋げている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			集計して事業所内（相談室兼面談室）に保管して保護者へ提示している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		評価結果を業務へと繋げている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		意欲的に研修参加をして向上心を持っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的に保護者面談を行い、気持ちや思いを分析をしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを利用しているか	○			専門機関で受けて検査結果を参考にしている。そして子どもの特性を知る。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月１回の会議や毎日の引き継ぎ時みんなで意見や考えを出し合って決めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子ども達の成長が見られるように工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		その日の担当指導員を決めて事前に１日の流れを決めて子ども達が戸惑わないように支援していく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的に個別活動を取り入れている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、決まった時間に必ず引き継ぎを実施して確認している。
	⑯	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			退勤時、必要事項は共有していくが退勤時が合わずできない場合もある。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			HUGシステム（連絡帳アプリ）を通してサービス提供記録を入力して保護者へ公開している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			６カ月に１度、モニタリング面談を実施して計画書の見直しをして
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか		○		ガイドラインをきちんと確認して支援していく。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者、児童発達支援管理責任者が参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校迎えの際に引き継ぎを行っている。下校時刻表をいただいている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	保護者を通して情報収集、共有をしている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じて情報共有をしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	今後、積極的に提供していきたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター島の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修を受けて現場への支援へと繋げている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			月に１度、同じ敷地内にある学童に交流して誕生日会に参加してい
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			地域の小学校の運営協議会に参加して情報共有している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		送迎時の時間を大切にしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	今後、実施していきたい。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		契約時に時間を作って行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		その都度、相談に適切に応じて行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者同士の繋がりはない。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		対応する体制を整えている。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		毎週のFacebookや月に１度、放デイ通信を発行して子ども達の様子を伝えている。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			指導員全員、誓約書に同意して勤務している。

	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			配慮を心掛けている。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		今後、地域との交流を図っていきたい。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			保護者には面談で伝え、指導員には会議に周知している。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			火災想定の避難訓練は消防署立会いの元、実施している。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修を受けた指導員が対応している。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デサービス計画に記載しているか	○			契約時に保護者へ了解を得ている。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			きちんと対応され、おやつ提供をしている。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			きちんと共有して現場に入っている。